夕刊
磐城新聞
三月十一日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩は北の風曇
明日は北東の風曇

隨筆 身邊のこと（六）

島田忠夫

×

個人誌の特長は、じぶんで氣ままな事が書ける。例へば『むらさき』の注文となると、教養ある婦人に讀めるやうな詩とか小曲といふ注文がある『家の光』からは農民を對手にしてといふ注文がある。個人誌は、それがないから実に氣易い。

×

また、賣るのでないから興味の問題でもいい。自分を正しく出してゆけばよいのだから、くよ／＼することはない。そして氣の合つた弟子の作をあつめて、團爐裡のやうなたのしい氣持をかもし出すことも出來やう。

×

さういふ意味で『田園』を出してゐる。四月號は、皇軍慰問號として、少し金をあつめ、部數も四千位刷り、戰地へ送りたいと思つてゐる。

×

前の陸軍新聞班長の秦大佐に、昨夏、事變の始まつた時、私は自作の日本書を携へてゆき献納した。いま、陸軍省の班長室にかかげてある。あの、こはいやうな顔で、破顔すると、ざくろが笑んだやうな懐しい大佐――いま、部隊長になつて〇〇の奥地にゐる。この部隊長にも『田園』を送つてやりたい。

×

平市は、幼時の私の育つた地であり、この土地の人々にはなつかしみが深い。もし希望者があれば、右のやうなわけでお送りもするから、玆に一言かきとめておく。

附記

いつか玆に『野麥』を評し松村満氏の歌をいささか酷評した。あれは多少氣がとがめる。ただ、松村氏あたりは、もう一奮發しなくてはならぬとだけ、今も思ふ。時代と共に、歌壇は常に／＼動いてゐる。超然とするには自身の中に非常なものがなくてはならない。松の氏の名は古いので、私も昔から知つてゐる。一度會つたこともある。それだけ村、甘い歌を作られてゐるには、正直のところ、いやでいやで堪らない。氏よ。諒せられよ（完）

3月12日

△水戸烈公生る（寛政一二）△一六の休暇日を改めて日曜日とす（明治九）△駐日英大使クレーギ氏後任に決定（昭和一二）

爆彈三勇士六周年

珠雲 小野菊平

三士爆身年六週
追思今日不禁愁
廟行鎮畔留嗚烈
炳灑汗靑千萬秋

激憤

永澤耶夫

○つぎつぎに起り消ゆめくわが雜念堪へ切れずもよ疼く蝕齒の
○犬のごと息喘ぎ行暗き丘盆地を低くおほふ黒雲
○喘ぎすがら下げし藥罐の水ふくめ疼きにうづく齒に狂ほしき
○こめかみにひびく齒痛に狂ほしくすべなくなりて突き走りたり
○落着きて座り居れずつかつかと診察室に入り椅子に腰下しぬ

初戀のラスト

三森三郎

（四）

娘は條件として中學生は小學校の教員になつてくれと職工にはどんな競技でもよいが、オリンピック大會に出場するやうにと、その晩に私を捧げると言つたのである、期間は中學生が三年間であつた職工の方も丁度オリンピック大會までに三年間あつた。此んな關係は二人とも知らなかつたのである

二人はこの宿題のもとに猛然となつた、二年目には中學生の男は東京で他の女と心中してしまつた。

職工は毎日マラソンの練習を續けてゐたけどこの頃になつて練習どころか夜遊びばかりしてゐた、これでは明年の大會へ！にはおぼつかなくなつてしまつた

二人の希望は金錢にも挫折してしまつたのである

いいの見つけたな、コロンブス大陸發見以上だ、傑作だ、その女は

『京樂の女給だよ』

『さうか僕もなんだ』

『京樂には堀出しものがあ[illegible]』

『主人公は麗子と云ふ女だ』

『なに麗子』

麗子と非岡の學に僕は懐の原稿を取出した。

講談 髑髏組（どくろぐみ）

林杢兵衛 作　金子士郎 畫

(136) 雛合（三）

『旦那、どうなすつたので御座います』

『うむ、子供の居所は判つたから、もう心配しないでもいゝ』

『左様で御座いましたか、それはよう御座いました、そうして何方に』

『矢ッ張り、親類の者が連れ戻つたとか、今の使が手紙を持つて來た』

『ちやアあの、怖い叔父さんと云ふのが』

『さうなのだ』

『可哀相に、それでは今頃あの子は虐められて居りませう』

『さうかも知れぬ、それではあの子供が如何にも氣の毒だから、今晩、俺が行つて話をつけて來る。そうして改めて貰ひ受けて來るつもりだ』

『左様で御座いますか、私共には何んと申上げてよいか解りませんが、旦那様のお心で、さうしてお上げなされたら、彼の子もさぞ喜ぶことで御座いませう』

『俺には、何んだか彼の子が、自分の子のやうに可愛くてならない。假令どんな思ひをしても、もう一度連れ戻したいのが胸一杯だ』

悲痛な刑部の叫びであ（る）。

『世間によくあるやつで御座いますが、もしかするとその親類の人達は、彼の子を喰ひ物にしやうとして、金でも呉れと云ふのではないでせうか』

番頭らしい不安な觀察である。

『うむ、金で濟むやうな生優しい相手なら苦勞は要らぬが、殊に依ると』

『えゝッ』

『いやなに、そんなことかも知れない』

曖昧に云つて、番頭達の前を逃れるやうに、奥へ這入つた刑部。

その後ろ姿を見送つて、番頭は、小僧二人と、何んだか、お互に意味の判らない妙な顔を見合せた。

夜になると、刑部は、待ち兼ねたやうに、窃ッと裏口から家を出た。

愛刀彦四郎と、身輕な装束は、晝のうちに萬端仕度をなして、裏の物置きに匿して置いたそれを凛々しく身につけて久し振りに藥茶屋の主人から、以前の武家姿に返つた刑部だ。

破邪顯正の大盤に立つて總人征討のために湯島天神の森へ繰り込むのだ、と思ふと、今迄にかつて覺えない足の輕さが意識される。

春とは云ひながら、まだ霜の降りさうな冷たい夜風がそよ／＼と動いてゐる。

西の空が沈みかゝつた片破れ月の影が招くやうに夜道を照らしてゐる。

丁度、大鳥居の下を潜つた時に、上野の鐘が四つを報じた。

第一の拜殿の横を廻つて眞つ直ぐに奥の方へ、やがて其處にある名木、見返り紅梅を斜めに見た位置に、不圖立ち止つた刑部。

と第二の拜殿の裏手から首領の權十郎を先頭に、あとから續く髑髏組の一黨。

『今、打つ鐘は四つ、間違ひなく、よくお出で下された』

故意とらしく、慇懃に迎へた權十郎。

そうした言葉に耳もかさで

『子供は』

と、刑部の氣に掛るのはお咲の身の上であつた。

『貴公が、こうしてお出で下された以上は無事であるから安心めされ、だが無論當面の趣き、御承知で御座らうなう』

『それが、以前の刑部ならいさ知らず、油屋の事件以來、爾今必ず正道を踏むと神佛に固く誓ひをたてた島宗刑部、如何なる事情が御座らうとも……』

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2）西村藥局（電3）

晝夜診療
外科一般 內臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕平市新川町〔電四六四〕
イツデモ入院デキマス。
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

男女工員募集
東北一の大工場
從業人員四千餘
製品、人絹、ソーダ、二流化炭素、晒粉、過燐酸
昭和人絹錦工場
男十六才……三十才まで
女十三才…二十五才まで
御入社御希望者は御申込下さい
詳細御通知、又は參上面談
石城郡錦村大倉
鈴木林

銀なべ 牛鳥
豚汁
串カツ
◎珍味御試食願上ます
平市三田小路
チンヤ式食堂
靜かなお座敷 一の井
電一六七

御得意樣への御禮に！
パーマネントウエーブは
今や…世界的流行であります

お値段（四圓…全部 三圓…普通）（學院パーマネント部の一部）
水野化粧院
水野冬子
平市驛前 電六七八番
自宅 電五二五番

磐城の御みやげ品
名物 靈峰（みやま）羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山（みやま）羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豊間……辨天羊羹
◎各種 一本 十錢
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

◎互融會事業報告 昭和十三年一月中
融通口數 八五口
融通金額 三、三九〇、〇〇
滿期拂戻口數 八一口
滿期拂戻金額 四、三三〇、〇〇
概況昭和十三年一月末現在
會員數 八九六口
世帶數 五八一五戸
積立金額 一三一、三五八、八〇
融通金額 一五、三三八、〇〇
融通金回收高 七一、九〇三、〇〇
滿期拂戻口數 七五〇口
滿期拂戻金額 三三、五三五、〇〇

一、社會公共事業及慈善事業へノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤倹日積立金ノ奨勵
一、小資本金ノ相互融通

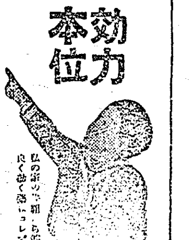
太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市揃槌小路一番地 電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古港
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部 植田町登町
相双支部 原町東一番町

產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
病室增築、手術室完備
往診隨時 平市新川町「電話三六九番」

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電一六八番

銃後の皆様におすゝめする
（糸イラズ）
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ、其他何品にでも活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。お子樣方や御子樣方でも容易に修繕出來まして、なくても立派に仕上りますから此の非常時、場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
（定價二十錢 三十錢）
平市古鍛冶町 （縣社前）
阿康藥局
電話四番
振替東京二〇八六五番

漢方のくすりは 生公華
效力本位



市專賣店
山野邊藥局
平市五丁目（電呼六六八）

和洋 建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

控除の恩典を失ひ 選擧權も無くなる

所得納税者に赤信號

申告は 十五日迄

税法の改正により平税務署管內に於ても相當納税者の增加を豫想されてゐる第三種（個人）所得金額及び營業純益の申告は履報の通り今月十五日（税法改正に伴ふ免税點引下げに因る新規納税者の申告期間は來月一日より十五日迄になる模樣）が期限で右經過後は老幼癈疾並に保險金額に對する控除の恩典に洩れ、中には僅かな處で納税義務を生ずる樣な場合もあるばかりで無く本年は恰も調査委員の改選期に當り、右選擧又は被選擧權は期間內に所定の申告をなし之によつて税務署が納税者と決定したもののみの有する特權で假令納税の決定を受けたとしても無申告或は期限を失した場合之の權利を失ふことになるので茲三四日に迫つた今日未申告の向は至急その手續きを完了され度いとの事である

自動車合同で 乘客混み合ふ

近く緩和策案出か

平、湯本間乘合自動車業の合同は茲に完全に營業者間の競爭を除去し早くも所謂統制經濟の美果を現出し之に伴ふ交通事故の防止其他大に今後の成績が期待されたゞ從來より混雜を增したる事が左右の噂を生んでゐるが之れとて車輛の增加等で近く緩和されるものと觀られてゐる

半期で約四千圓 日立電力の附加税

纏るか？徵收協定率

日立電力會社の營業收益税附加税は發電所、變電所又は營業所の所在地たる平市、及湯本、好間赤井各町村の大きな財源となつて居り、その徵收率は關係市町村間で永年モメてゐたが先年成立した協定に基いて夫々徵收し來つた昭和十一年十月から一十年三月迄の分も本税の五千四百五十三圓八十二錢に基いて計算すればその附加税約四千圓この徵收を前にして平市當局では昨十日前記協定に基き、關係町村長に來る二十日を期限として協定案を通知、もしこの協定に異議があれば更に會同協議することになつて居り、從つて税の徵收が遲れるわけであるが年度變りに際し各市町村とも財源を目當てに忙しいときでもあり關係町村の態度は注目されてゐる

國道を改修せよ

青沼市長ら上京

勿來—久の濱間を結ぶ國道六號線の改修運動は先年沿線町村よりこれが期成同盟會を結成、國會ある每に陳情して來たが平川橋の架換並に鮫川橋の着工等前提計畫の進んでゐる矢先き（既報）猛運動が必要であるとて青沼市長並に沼田（內郷）佐藤（神谷）新妻（四倉）等の關係町村長は十日朝上京內務省に陳情した

產業實務講習

產業組合磐城部會では十日から左の日割で郡下產業組合の實務講習會を平園体事務所に開く（括弧內講師）

十、十一日法規（星主事補）十五日信用事業並に農業方面（小松主事）二十二、二十三日販賣利用經營（江名町組合石井專務理事）二十九、三十、三十一日組合簿記（福島支會丹野主事補）

灌漑に異變

川中子方部の 好間で出縣反對陳情

縣では市內磐城橋と平川橋の架替を本年中に行ふこととなり新橋は現在の橋より約十尺高くなるため現在の縣道をそのまゝ改修しては工事困難なので西方に新道を開設する事となつたが新道を設けられたのでは好間村川中子方面の灌漑施設に異變を來し、重大な反對運動が起つてゐたが金成村長外村議代表が十日出縣現道路の改修方を陳情した

。。。。中西氏來郡　農林省經濟更生部業課中西利英氏は二十日來縣全國的優良組合の折紙をつけれてゐる石城販賣利用組合を三日間にわたつて調査する

戰時下產業經濟講演

中野氏あす第三で

平市聯合青年團並に市役所商工會の主催で十二日午後七時から第三小學校講堂に日曹社長中野友禮氏を迎へ非常時局產業經濟講演會を開く

演題は「これからの仕事」一般來聽を歡迎する

生温い微風に 艶な春の胎動を聽く

今朝來の氣温昂騰

珍しく白いもの迄見せた昨早曉來の寒波は極めてあつさりと切り上げて、今日はまた打つて變つた卯月氣分生温い風にも春の胎動が感ぜられる。よき程に降つた雨雪は、干からびた大氣に潤ひを見せて風邪つぴきの咽喉具合を整調し、微かな膨らみを見せた黑い土からは夢の樣な草の芽生えを見せてゐる。受驗準備の夜學通ひも漸く樂になつて來た小學校の卒業式、試驗休み中等學校の入學試驗と苦樂とりどりのスケヂユールは滯りなく進んで世は擧げて非常時乍ら樂しい人の世の春は今年も日一日と近づいて來る

齊藤伍長 遺骨

好間の母親の許へ

第一線で名譽の負傷後治療も空しく遂に死去した○○伍長齊藤洋一君の遺骨は昨十日午後三時十七分着で磐なき凱旋をし、好間村權現堂の母親の許に歸つた同君は台灣から第一線に立つたもの

衛生普及映畫

平署では十三、四の兩日神谷村、十五日好間村各小學校で衛生思想普及の映畫會開く、プロ左の如く平、湯本でも催すが期日は決らない

あかつき、母なればこそ、長屋騷動記、まあ坊東京へ、オリンピック大會オランウーダン

馬質の改良と增產

種牡馬三頭を借受け 石城產馬組合の試み

石城產馬畜產組合では既報の如く今十一日午前十時評議員會、十二日同總代會を平園体事務所に開き何れも平園体事務所に開き十三年度追加更正豫算十三年度豫算、步合金分賦收入、組合副區長改選（二名滿期）評議員選擧（同五名）國有種牡馬借受、組合有種牡馬處分の諸件を附議する、國有種牡馬は從來定期的に出張種付けを行つて來たものだが今後は優良馬三頭を借受け馬質の改良と增產をはかるものである

馬の品評會

石城產馬畜產組合主催の繁殖馬共進會は既報の如く來る二十三日上遠野村セリ市取で開かれるので組合では技術官の派遣方を縣當局に申請した

共進會の出場は約六十頭一等二、二等四、三等八、四等六に褒狀を授與する

商業組合研究會

縣商業組合協會の主催で今十一日午後二時から市內マルトモホールに商業組合研究會を開き關係者三十餘名出席、經驗談組合設立促進、商業組合の時代性等を中心に座談の形式で協議した

白衣の勇士凱旋

全支を震駭せしめた兩角部隊勇士松崎叶上等兵以下十五名が十一日午後六時若松驛着で白衣の凱旋をしたが本郡出身者左の如し

永戸村上等兵松崎叶、泉村同綠川重太郎、飯野村一等兵永山時三、內郷同佐藤市藏

海の雛鷲目指し 第二次關門へ

吉田、片寄の兩君勇む

海の雛鷲を目指して甲種飛行豫科練習生の第一次試驗にパスした市內堂の前吉田仲四郎、同六間門片寄藤次の兩君は更に來る二十六日から三十一日迄横鎭で行はれる第二次試驗（身体檢査適性檢査、口頭試問）に臨むこととなつた

。。。。產業組合監事講習　產業組合石城部會の監事講習會は十一日より三日間市內マルトモホールに開く、講師は縣經濟更生課星主事補

。。。。度量衡協議會　法規改正による郡下の度量衡計量器營業者協議會を十一日午前十一時から平市役所に開いた、受講者三十餘名

投槍

投書歡迎

。。。。平商工會に望む。。。。

△物價騰貴に因るお台所の非常時は此際舊態依然別に、生活條件の改善向上されぬ各家庭にとつて近來の一大脅威たるを失はない

△安く仕入れた物は安く賣れ。買つた値段で今後仕入れられぬと大變だから……と云ふのが各々立場を異にする需給者間の建前であるが時はまさに非常時である。

△所謂長期戰に勝つには銃後の强化を第一とする即ちお互忍ぶべきを忍び克れ得た生活の重壓を其の方に向けて國威の宣揚と國民の幸福を念願せねばならない

△全然仕入れ値で賣れと云ふのは無理かも知れぬが、同時に今後の値上りを豫想して不當の釣り上げを行ふも或る意味に於て商業道德の叛逆者たる譏りを免れ得まい

△わが平市では市制の所產として此の方面の發達向上を目的とする商業會議所が設けられる筈であるが此際一つその小手調べ的に即今の物價調節に就て一考慮を拂つて頂き度いと思ふ（田町腰辨生）

古來の不統制は當然 特超奇拔な募兵方法

陣中を聽く

……………（107）……………

市內上平窪出身 小野藤市君（信通）

承前。それで支那兵の內容は大体に於て次の樣なものだそうです 土匪賊從、共產匪、遊兵、無賴の徒を集めたものや强制的に集めたもの、その集める方法も種々ある樣ですが聞き飽きて居りませうから省きます、只一寸珍しい方法の事に就てお話致します。

淸朝の時淸の軍隊が滿洲から江南に攻めて來た時に江南地方で兵を集めやうとしても仲々うまく行かなかつたものですから、五名七名と一つの袋に入れて四方で買ひ取つたそうです、袋の中は老若男女が混合して居たそうですが良く兵隊になれたものだと不思議に思はれます。支那では人を賣買するらしい今でも嫁を買ふさうで、四十、五十になつても買ふ金が無ければ一生女に接する事が出來ないわけださうです。

支那國にはヒ賊上りの官吏が多い『那欲得官之時則殺人放火須受招安』（官を得んと欲せば人を殺し火を放ち—中央—招安を受く）官吏になつて出世するには土賊やヒ賊になるのが早いらしいです、張作霖なんかはそれでせうか。

馬賊やヒ賊が兵隊になつて居るし雜多ですから次の樣な文もあります（原文略）兵を罰するとヒ賊になるし、ヒ賊も手なづけると兵になる 兵もヒ賊も紙一枚の差か同じてある

この樣な軍隊には自分から生命がけで戰ふと云ふ精神も持ち合せないでせう

◇……………◇

感慨無量！

市內白銀町出身 蛭田浩君

—銃後の護りとして精々の御骨折り誠に感謝の念厚く其の事に胸一杯に御座います、充分御注意して頂き度いと希望致して居ります

小生は現在南京に居り、城內も平穩になり支那居住民も出て店も始める樣になつて居ります。只豪壯なる建物に我が軍の日章旗が飜つて居るのが感慨無量で御座います。

地方米價保合ひか

けふの共販出荷九百俵

石城販聯の俵米定期共販は今十一日行はれたが出荷左の如く九百二十一俵去る五日の大浦共販は高十二圓八十四錢を示したが其後多小値下りを見てゐるので前回（去る一日）の十二圓八十錢に比しほゞ保合ひと見られてゐる

平三二、草野一六〇、飯野一〇〇、大野一號一三一、同二號一三〇、神谷七六、高久一八六、同ムギ三、小川一號一〇三

中風翁縊死

市內長橋町二古物商稻野邊國松（六八）は十一日午前四時頃自宅で縊死を遂げた、數年來の中風を苦にしての結果らしい

玉屋ノ眼鏡

銀紙獻金

平藝妓屋組合では引續き藝妓を動員パクトの銀紙蒐集に當つてゐたが十一日も一貫二百匁を恤兵費にと市役所へ寄託

。獻金。　山田村井上女子青年團員蛭田タツさん外九名は一週間前から鮫川で砂利採取をなし村役場へ國防費として十圓を獻金

三井與一君長逝

幼年來秀才の譽高かつた市內南町直吉氏長男磐中二年生三井與一君は豫て病氣の處藥石効無く今十一日朝長逝した行年十六、葬儀は明後十三日天理敎の式によつて執行する深くその死を惜まれてゐる

人を求む

一、少年工場員
一、給仕

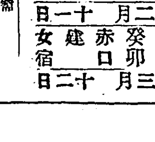
高等小學卒業程度の者 市內在住者に限る

磐城新聞社

十二日（小名濱測候所發表）

滿潮 前 三、二〇 後 〇、三五

干潮 前 七、一〇 後 八、四〇



舊二月十一日 土曜 癸卯 赤口 建 女宿 新三月十二日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 共同事業に手を出すより博奕の仕事がよし▲二黑 きよ勢にあふられず利は少くも實收に安んぜよ▲三碧 生氣さかんなる日故に急をそろへてはげむべし▲四綠 諸事順調に進む但し外に在りては失物を注意▲五黃 位は高けれども足元は常にぐらつき易き日▲六白 平和を大切とすれば大過なくして濟むべし▲七赤 衣食を節し進むに秩じよある時は吉日と成る▲八白 多事多用の日他人の事はなるべくさくべし▲九紫 心せわしければなるべき事も破ることあり

電話

讓り受け度し

姓名在社

上原家政婦會

平市紺屋町一一

會主產婆 上原通子 電話二二一番

產婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

（友）◎御入學も差迫りました

中等教科書 辭書・參考書

國定教科書 全科・自習書

ランドセル・手提・カバン・各種

新學期の御用意はマルトモで

◎御入學・御進級・御卒業記念に

パイロツト萬年筆・エリオツト萬年筆

シヤープペンシル・アルバム類を御推奬いたします

平市四丁目 電話 一二四番 二三四番

店員を迎ふ

一、小店員（十六歲以上）

一、中店員（廿歲前後）

各二名を迎へます

仕着小遣持、追々昇給 休日毎月二回—第一第三日曜（お細面談）

東京市大森區馬込町二丁目一、〇二五

京染、白生地、吳服 蓮沼亘商店 電話大森六二七四番

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男 平市田町（電話五八番）磐田女學校前

齒科口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木政 內郷村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

「入院のお需めに應ず」（看護婦及び見習看護婦募集）

難波醫院

內科 小兒科 入院應需 自炊の便あり

平市大町 電話五〇二番

（看護婦見習、看護婦募集）

醫學博士 難波睦

產科 婦人科 花柳病科

午前宅診 午後往診 入院應需

井坂醫院

平市田町（元合津醫院跡）電話五五九番